

關西大學 學生新聞

編輯部 竹下文雄
發行所 關西大學 新聞部
地址 大阪市東區川島

關大文化陣の勃興

陣容の整備

漸く成る

スポーツの聲望を一手に集中してゐる我が關西大學は、オリビック東京大會を目指して全幅的に目覚めしきその活動を開始し、關大マンをして、彌が上にもその情熱の坩堝に滾らしてゐる。此の秋、かゝる關大マンのハリキリが獨りスポーツの分野のみに留まらず、やがて、これが文化事業への覺醒を促し、昨秋來、數多の文化團體が彬彬として勃興したのも當然の歸結となければならない、斯くて今や、關大文化の新機軸の達成に全學を擧げて熱烈なる意氣を醸してゐる。

社會經濟現象の

総合的の把握に

商研會の期待多し

學生なるが故に社會の特殊層に置かれ、動もすれば實地經濟學的研究の活躍を閉ざされたるが如き現状であるが、徒らに象牙の塔に籠籠するを好まず、吾が關西大學の所謂「現理的理想主義」に立脚し、眞學なる學問的態度を以て組織されたる商研會は國際的商業都市大阪の一角に、商研現象の研究、並に社會經濟現象の総合的把握の二大スローガンを掲げ、一、社會現象を進行し、一、商業事情の研究會を組織する、一、商業、社會、經濟に關する講演會を開催する、一、會員相互の研究發表會を開催する、等の事業を遂行すべく今や準備全く成り、河村貞介教授指導の下に

同攻會

昨秋、商二(當時商一)の眞嗣なる有志に依つて組織された「同攻會」は、爾來、古川教授指導の下に専ら經濟學の基礎的なもの、研究に力を注ぎ、以て學生の向學心を養成すべく堅實な歩みを續けてゐる。同攻會の特徴は他の會の如き會則や役員を全然設けずゼミナル式の研究討論にあると云はれてゐる。

舞臺に研鑽重ねる

恰も西洋文明開拓の影を見せ根強く頭角を現した大洋洋文明が、米國に成るか、日本に成るかかの岐路に在る時、皇道主義東洋主義を標榜せる「東亞研究會」は亞細亞の盟主日本を世界の露牙コモンウェルスに救ひ、滿洲帝國の王道樂土建設に一臂の力を惜まず、或は福馬の抗日的熱にうたはれる支那民衆に反省を興へ、以て益々東洋平和の維持に献身の努力をなすべく、大山、與平、水谷教授指導の下に「支那語講座」、「研究會」會誌月刊など新事業を學部等門部合同を以て計畫してゐる。日進月歩に此の大なる抱負遂行へ

就任の挨拶

新學長 神戸正雄

不肖ながら、先驅として最も尊敬する仁保博士の御推薦を蒙り、理事會の御懇請に依りて、本學の學長兼本學專門部長に就任することになりました。私は薄徳非才、果して能く其の任に堪へ得るや、聊か慙致しては居りますが、併し一旦御引受を致した以上は自分の力の出來得るだけのものを盡して職責を完ふしたいと存じます。就任後、現任部長の諸君に於かれては、私に對して好意ある支援を惜まれない様に御願ひ致します。本學は創立後五十有餘年を経過して其の基礎益々固く、社會の信用も亦感々厚くなつては居りますが、然し其の施設に於て尙理想的に完備して居るとは云ひ難く、夫等就任後は事情の許す限り漸次改善を期して、完成の域に進めたいと存じます。

文藝愛好者を募り

ペンクラブの誕生

「現代學生の充されぬものへの憤れが徒らに官能的な刺戟を求めパツションの舞流が無主義への道を追はせれば、ヤンガゼネレーションを生きて居る吾等學生の眞意を果して何に依つて救はれるか我等は文學の分野に其の活路を見出し得るものである。」

茲に於て自ら陣頭に立つた雜誌「ペンクラブ」の如きペンクラブの萌芽を飛ばし、從來分散せる文藝愛好者を募り、ペンクラブを組織すべく、非常なハリキリ方である。一、文藝懇談會を催し各會員の文藝作品を批判討論する、一、各種文藝品の批判を行ふ等を掲げ文化的空氣を醸し出し、關大文化陣の一礎石たらんと、過渡來同志の叫合を求めて居り其の活躍が期待されて居る。

關大陣壇

九次、教授學生活間の個人的接觸を旨として日本國總督府所建設計に工を急ぐ九次、之が完成の際に胸襟開き親身に學業進んで教授の談を聞く事が出来るものと云ふもの、關大學園にも一つ位あつても悪くない。

京大、學生會館の完成を見た京大、食寮、ホール、美術部、アトリエ室、音楽演習室、健康相談所等々到れり盡せりの施設を有し、學友會の役員會も茲に開催される

部員募集

三階部室 投書箱へ

學生新聞部

説部

新入學生に與ふ

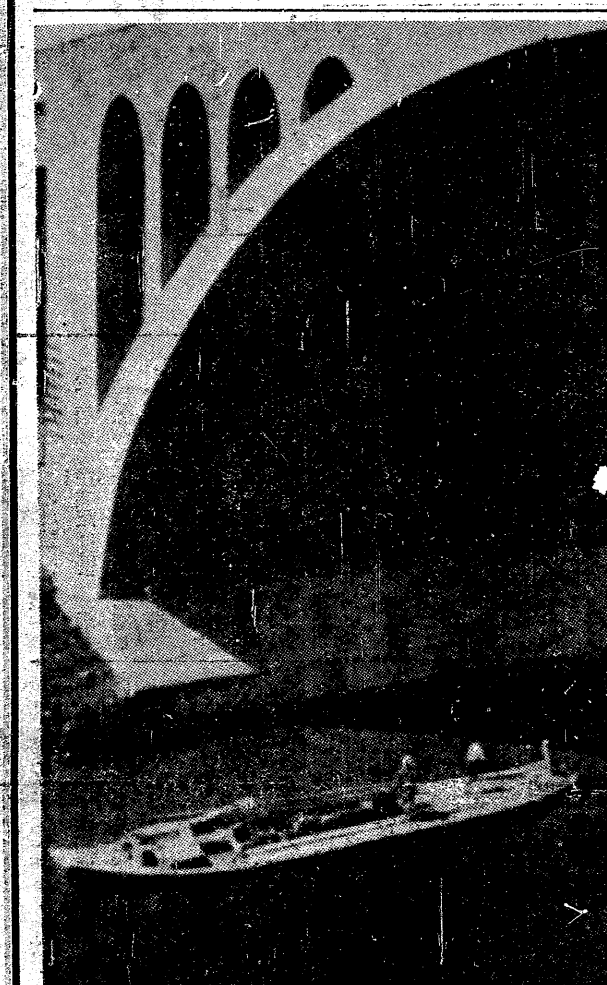
本學が西日本の學界に最も先導的な最高學府として、その双手をふりて、人材出でよと聲を限りて絶叫してゐるのではない。

此の時代此の時、はるばる、我を奮はして我が學園に入りし諸君よ、諸君等は此の悲しむべき現實の中に數多のあやまたれたる自由の殘骸を察見せられるであらう。諸君等の抱かれたイデオロギ、灰色にすいたリアルは餘りにも憂鬱であるかもしれない。然し諸君よ、それだからと云つて現實に目を凝らさずには居ない、諸君等が青年であるなら、

由、我が學友會委員諸君も一十一期、一階十六室、二階八室と云ふ文化陣壇のルーム、學生控室の落成式を行った慶應、慶應、置まで進し、近く學友會各會に區分配置をなすことか。

關大、學部附屬機關九階建の建築工事も着々と進捗しつゝある阪大、海濱グラウンドと近接して學生アパートを造り、物價騰貴に悩む學生諸君に救ひの手を投げかけ様として居る。あちらを見ても此方を向いても諸君、睡蓮止まざるの聲が深めらるるか。

然かも、一度眼を上上げて我が日本の内情を見んか、内に無産大衆の政治進出は情勢を既成政黨の投擲と相俟つて、人材出でよ!!の國民の叫びは澎湃として日本の山河に溢れ、偉大な民族の責よべき使命を乗せた若鷹は、若き人々の奇蹟を待って新しい世紀の蒼空を駆んで、はたいたいてゐるのではないか、更に一轉して氷雪あれるシベリヤの空を見よ、黒潮渡る奔瀾萬里の彼方を見よ。我々青年のこのよき天地のいかに



我々の胸に燃やして居る此の會の特色とする所は、一、民、商、刑、民刑訴訟法、を課目とし、各課目の研究終了毎に國家試験の模擬試験を行ひ、指導者と會員で討論をなす事、一、會員たりし者が本學を卒業しても尚引續き會員たるの資格を有する事。

偵れの榮冠戴見て勉勵に余念なき國家試験受験者に於ける傍系の大學としての悲哀と不便との解消を期して官學に對する一心を刺戟せしめ、益々高率の國家試験合格者の出現を容易ならしむべく多數の熱心なる講師、教授の肝入りと法律科三年有志の熱意なる向學心より生れたる法律研究會は國家試験に最適な受験準備と法律學の研究をなす傍ら、或は裁判の傍聴、刑務所の見學等を試み大いに

きいたと思ひます。即ち此の點に於ては前學長時代と著も異なる所なく、不動の大方針に従つて行くべきであります。人格の陶冶に就て、何んな點に重きを置くかと云へば私は私自身の體驗から努力第一主義の人物を造りたいと思ふ。人として夫々の職業に就き與へられたる仕事に身も心も打ち込んで一生懸命に、全力を盡して當ることが何よりも大切であつて、之へ完全に出來れば人格は自らに完成するし、國家社會の爲になるのであり、本學出身者諸君がなつて努力を家糊ひであることにならば本學の信用は益々厚くなつて本學の隆昌を來たすものと信じます。

聊か所見を述べて就任の御挨拶と致します。

學長の更迭 後任は財政學の權威 神戸博士



學長仁保松博士は本學創立五十周年を期して學長を辭したる旨を漏らされたが、色々の事情のため具體化に至らず一時立ち消えの形となつてゐる。たゞ今年四月も七十の高齡に達せられて決意愈々固く本學今日の大衆牙痛の患を思ひ出し、理事會に對して正式辭職を表明されるに至つた。後任學長を決すべき協同會が去る一月九日開かれ、席上仁保前學長の推薦に依る當時京大教授現本學經濟學部講師神戸正雄博士を迎へることに兩派一決三月三十一日附を以て、正式發表され、四月一日、本學本部に於て新舊學長の事務引継ぎを了へ、兩博士の歡送の宴が開かれた。

仁保前學長は昭和三年松本水治博士の後を繼いで以來十年間、その圓滑なる人格と明敏なる手腕を以て財政的難行時代を内部に持ち、加ふるに學内紛争は全學生をやもすれば歪められんとする時局に於て、學生を専心學業の道に導くとともに、財政的苦境にある本學經營方針に刷新を加へて財政を立直し、荊棘時代より育てあげられた仁保學長の功績は本學歴史に特筆すべきものであり、殊に創立五十周年の記念祭は實に仁保前學長に對つて感佩切なる記録的事業であつたらうと察せられる。斯くして建設時代の重任を果された仁保學長の推薦に依る神戸新學長の就任は蓋し本學の發展時代に入るものであるから今後の理事會の動向は全學生の視的となつてゐる。若し新學長の本學發展策に對し或は又従来の發展に支障を來すが如き態度あらば我々は斷乎として此れを排し、再び海外研究、大正六年法科大學學長、其後經濟部長に當選三回、又學術的には昭和三年「租稅研究」で帝國學士院學士、同五年學士會に列せらる、其他昭和八年の日本美術協會第三常任委員の就任を始めとし、京都商工會議所顧問、帝國農會の特別顧問、協同會理事、關稅調查會委員等と教學にいとまがない程である。博士の研究は初め商業經濟、工業經濟理論、社會政策等多方面に亘つて居たが殊に租稅研究に専心せられ、其間博士の精力的なる研究發表は全く驚異的と云はれ、「租稅研究」に關する著書だけでも既に十數冊を數へる。(カットは仁保博士)

増築校舎をめぐり紛争

昨秋工事中であつた四階増築工事が完成し、今春新学期から居開きすることになつたので、此の機を以て數年來の懸案であつた「商科二分割問題」が去る三月廿日の委員會に提議され、第一、その達成促進運動に乗り出すこと、に決した、即日當委員は、陳情書を可野牛徒主事の許に提出し、頭でその助勢方を依頼した。爾來毎日日参しその運動に餘念なく、如くであるが、三月廿五日の理事會に於て審議された模様もなく、突如學長更迭があり、そのごまかされに彈かれたかの如く思はれ、委員幹部は全く失望して居たところ、四月八日理事會に於て武田主事から左の如く當委員に回答があつた。「當局として出来る限り學生

に添ひかゝるの誠意に遺憾なく、語學の授業だけは二分制にして行ふから今暫くそれで辛抱して貰ひたい。」委員會の非常なる決意も「財政上の關係」の一言に擧げられ、今回の増築は一部のためと云ふより二部のために計畫されたものであることが完全に曝露された、而かも工事期間中、工事の難習や工事の都合で行はれた冬休の變更に依る支障も二分制を夢見て俄變して來たのであつたが、今にして見れば學生が一嘆噓はされた形である。斯くして増築が絶好のチャンスであつたに拘らず數年來の懸案がそのまゝ明日の問題として殘される。

現専門部主事勇退か 後任の下馬評 生徒主事 河村教授

河村の如く仁保博士の學長引退に關聯し、此の四月下旬頃、専門部主事の更迭が行はれる模様である。現専門部主事武田主事として四年以來初代専門部主事として四年に亘り學内行政に盡力されその功も著しくなつたが、學長更迭を機に勇退されることになつた。河村は「その後任は現學生主事河村宣介教授に内定し、後任の學生主事には和田豊二教授が就任せらる」と聞く。

河村の如く思はれて居たところ、今回一部委員と河村との間に漸く實現の氣運が見えて來た様である。四月八日「九越」にて最初の協議を行つた、その結果、従来のアルバムは小さい關係で各別々に作製して居たため不經濟な點が多く卒業記念として充分な意義をアルバムに盛ることが出来なかつたその事實に鑑み、此の際も意義あるアルバムを最も經濟的に作製することを目標に法經商提議を期して法經に働きかけることになつた、小さい關係で提議出來ないことは三科が團結出來ないためであり、アルバムに限らないうが學生の團結が強調されて居る現在、學生の大半を容れる商科から法經商の提議が主唱されることは誠に悦ばべきことである。

第一學期教練日程
五月廿一日 一年 狹窄射擊
廿二日 二年 同右
廿三日 三年 同右
廿四日 一年 野外演習
廿五日 二年 信太山
廿六日 三年 種株観察
四月十一日 三年 種株観察
アルバムは法・經・商の合併で

皇道宣揚會役員 總裁神戸正雄

總裁神戸正雄、副總裁武田宣之助、顧問島村謙一、吉田善松、増山忠次、玉木三郎、黒田正次郎、内藤正剛、名譽會長小林秋夫、指導官野野村四郎、久保田作平、袋井榮太郎、會長富永祝夫、總務森宗信、中村彌之助、常任幹事中山直人(會計)、藤山嘉利(記録)、松井清(庶務)、牛尾、正人(講演)、美浦秀雄(宣傳)、幹事生田禾苗、林義男、大上岩河、高松幹男、上田豊彦、山仲政夫、山下保、藤井博、藤原俊敏、藤川美徳、藤田正明、名譽幹事一。

珠算、正科に編入

昨年七月以來委員會は「珠算正科編入」を當局に陳情して居たが、今春新学期から實施されることとなつた。因に之は商一に正科編入されたもので、他の珠算希望者には従來通り別に課外授業が併設されて居る。殊に社會に於て珠算は先づ第一に必要なものであるから、大いに之を利用し充分その力をつけておくべきである。

委員會決議事項

(四月十七日)
一、仁保前學長へ記念品贈呈の件(廣く一般學生から贈呈すること)。一、新入生歓迎會を淡路州本(來る五月八日の予定)に於て舉行の件。

就職委員選舉

來る四月廿八日昭和十二年就職委員選舉を施行することになつてゐるが、目前に立候補届け締め切(廿六日)が迫つてゐるにも拘らず、候補者は殆んどなく、一般學生には甚だ氣鬱の模様である。

芦 笛

▲うつゝ「學部改革」教學刷新など結構なお題目が唱へられ、百論百駁、驚々として之に和す。▲さて、何處の御葬式かと思へば、これは如何に▲我々學生が「偏習失禮無禮」など死なぬ前から察り上げて居る▲生與坊主の御口ののぞのお題目が御利益あらう筈はないが、ともあれ、御葬式のあるなしに拘らず、學生双方の終結には關聯大に及ぼさず、▲極樂行きか、地獄行きか、臨分曉然な裁きをして下さる▲だが、如何に關聯大王と云へども「地獄の沙汰も金に非ず」次第一とか事實の是非も餘り頼れない程、セチカライ社會ではある▲とは云へ、裏道を知らぬ限り「勉強」以外に武器はござらぬ▲「轉ばぬ前に武器を磨いておきなはれ」と地獄行の人々が教へて呉れた▲今の社會情勢は恐ろしく、うねり狂上り、不安の如く、▲此の傾向は彼等自身の文化的水準を低下しつゝ、あり▲インテリゲンチヤの弊と云ひ切れない新しい人種が誕生して來た▲此の秋、此の時代の潮流に反撥せんものと敢然立つた彼の兩派にペンクラブ▲ささやかやからその氣を貫き貫すべく、折角奮闘にならぬやう自衛自愛を望む▲げに、世紀に一度あるかなしかの此の一大轉機期は、眞に研鑽を怠る者ある者にとつては又と得がたい大漁期なのだ▲これには並ならぬ悩みと冒險が伴ひ、何より果敢を要す▲だが、元來青年は誰よりも悩み、誰よりも冒險が好きで居る▲悩み、誰よりも冒險が好きで居る▲悩み、誰よりも冒險が好きで居る▲

正井 先生編 金融論 研究 第一冊分	森川 先生編 英貨幣と信用	西村 先生編 企業財務表分析論	西村 先生編 協資企業會計の處理方法	中村 先生編 國際經濟の競合 地帯に關する研究	加藤 先生編 商業會計綱要	赤羽 先生編 獨逸語教科書	坂倉 先生編 トウマスマン神童	坂倉 先生編 ヘツベル自傳	野村 先生編 行為法	伊藤 先生編 商業算術	河部 先生編 合理的珠算術	松井 先生編 英文經營論集
--------------------	---------------	-----------------	--------------------	-------------------------	---------------	---------------	-----------------	---------------	------------	-------------	---------------	---------------

株式 大同書院
大阪市北區梅田新道
電話北一五六三番

關大のバツク應援團

團長 藤原後歳

本年度應援團結成に當り不肖藤原が團長に推され其責大なるを痛感し諸君に一言所感を述べん。

關大歴史必然の要請に應じ學生至高の使命を自覺せる關大は大學の眞姿を顯現し燃然たる飛躍的關大體制を以て内外の革新的生命と結び吾等未曾有の偉業に拮据せんとするもの悉く天命の至嚴學生衷心の熱求に出ず。學友團結し學生本分の大道を邁進せんとするは吾人不變の念願なり。

吾等應援團は眞實なる學生に依り關大スポーツ、關大學園の爲に結成されしもので、應援團の動向は一般學生の愛護心の自覺か否かに上る。一般學生が自覺的に應援に參加せば校門で諸君を強制する必要は解消す。常に諸君が團體的精神を以て關大精神に立脚し學生らしき行動をとられん事を望む。

オール日本NO.1を目指し關大スポーツ、關大學園の爲に結成されしもので、應援團の動向は一般學生の愛護心の自覺か否かに上る。一般學生が自覺的に應援に參加せば校門で諸君を強制する必要は解消す。常に諸君が團體的精神を以て關大精神に立脚し學生らしき行動をとられん事を望む。

吾等應援團は眞實なる學生に依り關大スポーツ、關大學園の爲に結成されしもので、應援團の動向は一般學生の愛護心の自覺か否かに上る。一般學生が自覺的に應援に參加せば校門で諸君を強制する必要は解消す。常に諸君が團體的精神を以て關大精神に立脚し學生らしき行動をとられん事を望む。



長 團 原 藤

進行の姿を見よ、關大のスポーツがスポーツの關大が、水に陸に將又天空の征進に!!之こそ血を流す若人の感激の泉。學友諸君意思方に生きよ、母校愛に充ちて高踏亂舞高らかに青春を謳歌せん。若し關大團體精神を亂す者あらば斷乎制裁處分に應ずる事を言明する。起て、若人!! 飛躍關大は我等の手で!!

ハイキング會舉行

六月

アルプス征服 第一班、上高知方面へベースキャンプ、リミエ薬師寺、十月十四日、白馬方面、リミエ杉田

柔道部 生田 禾苗 柔道を行ふに必要なる注目の二三を述べる。

第一、精神修養を目的とし技術方面は第二とする事。之に従ふ多くの人々の喋々する言であらうが未だに動もせず技術の方にのみ流れ

第二、技術修養は積極的である事。多くの人に接し其人に對する防禦方法を體得て自己を強固にする。柔道とは人を攻撃するもの

第三、瀟たる態度で行ふ事。若しに溢れた邪心ない氣持で練習を行ふ事。老人的態度は如何に積極

山岳部 薬師寺富美雄 世人の理想だもしなかつたナンコト征服を立教エトルが完成し

拳法部 山仲 政夫 新進氣鋭拳法部の雄々しき門出に當り一言述べん。抑々吾部員の

射擊部 朝比奈 光 今春四名の銃士を送り吾部は痛手を受けたが休暇中の練習に依

上田 豊彦 長く先般御眞影を奉戴し恐懼して至誠奉公を誓ひ奉り吾等慶會

西井 清 言論の自由に進進せん。左せんか右せんか。混濁たる社會情は

小林由太郎 現下の社會情勢は全く不自然である。吾等若し時代性に束縛され

岡田 朝男 製作上願案のトキの同化された吾等映畫界が非常時の影響を

柔道部 生田 禾苗 柔道を行ふに必要なる注目の二三を述べる。

第一、精神修養を目的とし技術方面は第二とする事。之に従ふ多くの人々の喋々する言であらうが未だに動もせず技術の方にのみ流れ

第二、技術修養は積極的である事。多くの人に接し其人に對する防禦方法を體得て自己を強固にする。柔道とは人を攻撃するもの

第三、瀟たる態度で行ふ事。若しに溢れた邪心ない氣持で練習を行ふ事。老人的態度は如何に積極

山岳部 薬師寺富美雄 世人の理想だもしなかつたナンコト征服を立教エトルが完成し

拳法部 山仲 政夫 新進氣鋭拳法部の雄々しき門出に當り一言述べん。抑々吾部員の

射擊部 朝比奈 光 今春四名の銃士を送り吾部は痛手を受けたが休暇中の練習に依

上田 豊彦 長く先般御眞影を奉戴し恐懼して至誠奉公を誓ひ奉り吾等慶會

西井 清 言論の自由に進進せん。左せんか右せんか。混濁たる社會情は

小林由太郎 現下の社會情勢は全く不自然である。吾等若し時代性に束縛され

岡田 朝男 製作上願案のトキの同化された吾等映畫界が非常時の影響を

冬山 雪山の 征服を 夢見る諸君の 入部 歓迎 スキー部

柔道部 生田 禾苗 柔道を行ふに必要なる注目の二三を述べる。

第一、精神修養を目的とし技術方面は第二とする事。之に従ふ多くの人々の喋々する言であらうが未だに動もせず技術の方にのみ流れ

第二、技術修養は積極的である事。多くの人に接し其人に對する防禦方法を體得て自己を強固にする。柔道とは人を攻撃するもの

第三、瀟たる態度で行ふ事。若しに溢れた邪心ない氣持で練習を行ふ事。老人的態度は如何に積極

山岳部 薬師寺富美雄 世人の理想だもしなかつたナンコト征服を立教エトルが完成し

拳法部 山仲 政夫 新進氣鋭拳法部の雄々しき門出に當り一言述べん。抑々吾部員の

射擊部 朝比奈 光 今春四名の銃士を送り吾部は痛手を受けたが休暇中の練習に依

上田 豊彦 長く先般御眞影を奉戴し恐懼して至誠奉公を誓ひ奉り吾等慶會

西井 清 言論の自由に進進せん。左せんか右せんか。混濁たる社會情は

小林由太郎 現下の社會情勢は全く不自然である。吾等若し時代性に束縛され

岡田 朝男 製作上願案のトキの同化された吾等映畫界が非常時の影響を

冬山 雪山の 征服を 夢見る諸君の 入部 歓迎 スキー部

柔道部 生田 禾苗 柔道を行ふに必要なる注目の二三を述べる。

第一、精神修養を目的とし技術方面は第二とする事。之に従ふ多くの人々の喋々する言であらうが未だに動もせず技術の方にのみ流れ

第二、技術修養は積極的である事。多くの人に接し其人に對する防禦方法を體得て自己を強固にする。柔道とは人を攻撃するもの

第三、瀟たる態度で行ふ事。若しに溢れた邪心ない氣持で練習を行ふ事。老人的態度は如何に積極

山岳部 薬師寺富美雄 世人の理想だもしなかつたナンコト征服を立教エトルが完成し

拳法部 山仲 政夫 新進氣鋭拳法部の雄々しき門出に當り一言述べん。抑々吾部員の

射擊部 朝比奈 光 今春四名の銃士を送り吾部は痛手を受けたが休暇中の練習に依

上田 豊彦 長く先般御眞影を奉戴し恐懼して至誠奉公を誓ひ奉り吾等慶會

西井 清 言論の自由に進進せん。左せんか右せんか。混濁たる社會情は

小林由太郎 現下の社會情勢は全く不自然である。吾等若し時代性に束縛され

岡田 朝男 製作上願案のトキの同化された吾等映畫界が非常時の影響を

冬山 雪山の 征服を 夢見る諸君の 入部 歓迎 スキー部

柔道部 生田 禾苗 柔道を行ふに必要なる注目の二三を述べる。

第一、精神修養を目的とし技術方面は第二とする事。之に従ふ多くの人々の喋々する言であらうが未だに動もせず技術の方にのみ流れ

第二、技術修養は積極的である事。多くの人に接し其人に對する防禦方法を體得て自己を強固にする。柔道とは人を攻撃するもの

第三、瀟たる態度で行ふ事。若しに溢れた邪心ない氣持で練習を行ふ事。老人的態度は如何に積極

山岳部 薬師寺富美雄 世人の理想だもしなかつたナンコト征服を立教エトルが完成し

拳法部 山仲 政夫 新進氣鋭拳法部の雄々しき門出に當り一言述べん。抑々吾部員の

射擊部 朝比奈 光 今春四名の銃士を送り吾部は痛手を受けたが休暇中の練習に依

上田 豊彦 長く先般御眞影を奉戴し恐懼して至誠奉公を誓ひ奉り吾等慶會

西井 清 言論の自由に進進せん。左せんか右せんか。混濁たる社會情は

小林由太郎 現下の社會情勢は全く不自然である。吾等若し時代性に束縛され

岡田 朝男 製作上願案のトキの同化された吾等映畫界が非常時の影響を

冬山 雪山の 征服を 夢見る諸君の 入部 歓迎 スキー部

柔道部 生田 禾苗 柔道を行ふに必要なる注目の二三を述べる。

第一、精神修養を目的とし技術方面は第二とする事。之に従ふ多くの人々の喋々する言であらうが未だに動もせず技術の方にのみ流れ

第二、技術修養は積極的である事。多くの人に接し其人に對する防禦方法を體得て自己を強固にする。柔道とは人を攻撃するもの

第三、瀟たる態度で行ふ事。若しに溢れた邪心ない氣持で練習を行ふ事。老人的態度は如何に積極

山岳部 薬師寺富美雄 世人の理想だもしなかつたナンコト征服を立教エトルが完成し

拳法部 山仲 政夫 新進氣鋭拳法部の雄々しき門出に當り一言述べん。抑々吾部員の

射擊部 朝比奈 光 今春四名の銃士を送り吾部は痛手を受けたが休暇中の練習に依

上田 豊彦 長く先般御眞影を奉戴し恐懼して至誠奉公を誓ひ奉り吾等慶會

西井 清 言論の自由に進進せん。左せんか右せんか。混濁たる社會情は

小林由太郎 現下の社會情勢は全く不自然である。吾等若し時代性に束縛され

岡田 朝男 製作上願案のトキの同化された吾等映畫界が非常時の影響を

冬山 雪山の 征服を 夢見る諸君の 入部 歓迎 スキー部

柔道部 生田 禾苗 柔道を行ふに必要なる注目の二三を述べる。

第一、精神修養を目的とし技術方面は第二とする事。之に従ふ多くの人々の喋々する言であらうが未だに動もせず技術の方にのみ流れ

第二、技術修養は積極的である事。多くの人に接し其人に對する防禦方法を體得て自己を強固にする。柔道とは人を攻撃するもの

第三、瀟たる態度で行ふ事。若しに溢れた邪心ない氣持で練習を行ふ事。老人的態度は如何に積極

山岳部 薬師寺富美雄 世人の理想だもしなかつたナンコト征服を立教エトルが完成し

拳法部 山仲 政夫 新進氣鋭拳法部の雄々しき門出に當り一言述べん。抑々吾部員の

射擊部 朝比奈 光 今春四名の銃士を送り吾部は痛手を受けたが休暇中の練習に依

上田 豊彦 長く先般御眞影を奉戴し恐懼して至誠奉公を誓ひ奉り吾等慶會

西井 清 言論の自由に進進せん。左せんか右せんか。混濁たる社會情は

小林由太郎 現下の社會情勢は全く不自然である。吾等若し時代性に束縛され

岡田 朝男 製作上願案のトキの同化された吾等映畫界が非常時の影響を

冬山 雪山の 征服を 夢見る諸君の 入部 歓迎 スキー部

愈々経営中心から 學的に移る新紀元 待望の明星新學長と語る

去る四月四日、本紙記者は上野の春日公園に集り、新學長候補正雄博士と、京都府立西田町の自邸に訪問し、學長としての抱負、殊に學園經營方面に涉つて御感想を承るところがあつた。左にその要旨を掲げ、鏡裏なる全學生諸兄に託すると共に新學長御對支持を切望する次第である。

記者 學長就任にあつて御感想を一つ

學長 感想と云はれては餘りバクセンとして云ひ難いね。(と前向きしてボツ) 過去十年に亘つて仁保前學長の築かれた基礎は堅いし、私は大體に於て仁保前學長の方針を繼承してゆく考へであるが、今のところ何分にも白紙だから研究の上出来るだけ全般に涉つて徐々にもり立てゆきたいと思つてゐる外、別段これと云ふ考へもな

日なほ淺く學園内情に疎い新學長から、學生の期待するが如き具體的な返答は望めない。そこで就任早々管轄とは思つたが、平素に於ける學生の切實なる意向を傳へておけば、今後學長として何を處する上、或は多少とも考へになるのではないかと考へた記者は、學園内の事實を率直に指摘して、それに對する感想を求めるところにした。

記者 四月一日に先生は來校せられたと思ひますが、天六乃至學校設備に付いて御感想を……

學長 環境も設備も併せて立派なものだ。……

記者 だが、先生は……

學長 ……



非常に悪いと私達は思ふのです。この點先生はどうお考へになりますか。

學長 そうだね、天六だね(暫時黙して)別に悪いことはない。……

記者 學長は……

學長 ……

うした若人の心を惹きつけるもの、間にあつながら慾望を抑制して修養するので、それが本當に偉いと云ふんだよ、そうしたことから云へば生きた刺戟が得られる天六で勉強するの、一つの修練になつていいではないか。……

記者 ……

學長 ……

はれますが現實には……

記者 ……

學長 ……

……

記者 ……

學長 ……

……

記者 ……

學長 ……

最新經濟問題叢書

本配日近

第九回 大坂商大助教授 豊崎 裕著 貨幣的景氣理論	第十回 神戶商大助教授 新庄 博著 金融理論の新傾向	大坂市東区川崎橋中通二ノ十 電話六三三〇
---------------------------------	----------------------------------	-------------------------

甲文堂



就職戦線偵察

水溜り春早
々から、灰色
の話もある
まいと、小言
真似するかも
知れないが、
一筆雪の功な
りて今春集立
つた樂しがる
べき職人か、
櫻の花が黄色
いと世を嘆じ
てる間は涙
なしに見られ
ない。

學園は就職戦線の養成所には非ず
とタンカ切つて見たところ、學
生の頭には「就職」がゴビ
リついで、餘りにもたましい現
實である。これも世間がセナガラ
クなつてゐるためであらう。

現代の僥倖者は彼等自身の現實
生活と、それは全く對蹠的な意
識との衝突に苦悶の日を續けてゐ
る。温床にも卑しい學園から見た
サラリーマンと社會に出て就職す
るサラリーマンとは似ても似つか
ないものであるらしい。現代僥倖
者問題は就職戦線と相俟つて重大な
社會問題である。

我々の前途に、かかる憂鬱な問
題が横たはつてゐるのだから、少
くとも學生時代に於て「生活」に對
する心構へを「現代社會の
流れ」を以て體得することも
早起りの體で、決して早起りでは
あるまいと思ふ。進歩的に木箱
的な夢ばかり追ふことなく、ちつ
と現實を見つめる時を一度く
らひ持たないものだ。

此の外、就職希望の會社に關
する準備知識は云々までもなく必
要だ。

兎に角、右の如くであれば、就
職試験も入學試験と大差なく、競
争試験である限り、相當の準備が
肝要であることが分る。こゝで一
言しておくが、内申書が過度に頼
りすぎて失敗した人が案外に多い
ことだ。此點、就職希望者は慎重
に考慮し、一日も早く目標を樹て
その準備工作に着手すべきであら
う。卒業早業就職したいものは、如
何に運くとも三年の一學期中には
なんとか目標をつけなければなら
ない(三年生よ、若し未だの人が
あれば即刻開始し給へ!!)。出來
得たら入學早業から着手しても絶
對に早すぎはしないのである(新
人生よ、就職の話は他人ごとと思
ふ勿れ!!)。

今春卒業生の就職對策を、僥倖
ながら概評すれば、餘りに不用意
だと云ふ一言に盡きる——之は彼
等自身でも認めてゐる。毎年
もでたらうが、卒業實際になつて
自分の不意を嘆する者の如何に多
いことか。

話が少し生々しすぎる嫌ひはあ
るが「即車後車被」と云ふ古語
の如く、就職戦線は他人ごとと思
ふ勿れ!!。

今度、關大學生新聞に何か書け
るのお言葉なんです、さてペン
を持つてみるのも何と書けない無氣
力が先づ頭にくいて困つてしま
うのです。

學 生 時 評

關大生は 白い手袋だ

清川 鮎子

あふれるばかりに花開いてゐる
事でもそれは決してひらく事を
ゆるさぬ。FANCY、BOX
のやうな神祕さで、私達女性にい
つも美しい空想を囁くものです
る。學生とは若い女性からみた最も
魅力的な男性の時代なのです。現
在の私の知つてゐる人の中にだつて
男の人ついでに學生と限つてし
か交際しないひとがあります。其
人はとても教養の高い美しい人な
るんですが……。

そのひとにいはせれば同じ人で
あつても制服が違つてゐると、
たまにきこつた背廣な人かどく
るときとはその人の美しさだつて
又その心まで、とにかくその魅力
は格段の相違があるさうです。私
は決してそれが全然そのひと個人
の好き好きの感情だけからじや
ないと思ひます。

學生がわざと奇をてらつてか、
かうした方がシックだといつたつ
もりでか學生らしくもなく、帽子
だけ流行の派手な色彩のソフトを
映畫などで見つけた外國の俳優達
のやうに斜にきこつてかぶつたり
ズボンの色をかへたり、基しいの
にきつてはきつたのダブルブレ
ストなどきつてノックハットの頭をい
はゆるトポ型に、香水などぶん
ぶんつけてはゐるのにはシキドこ
ろが若いモダンな女性だつて決し
てそんな趣味を迎合しないばかり
か、職業すべきだと思はせよう。
そんな事には関心はなかつても
あの地味な制服のついでに清潔
な魅力こそまことにみじくもすば
らしいものではありますんか。

きこらない明瞭さ、それが此の
時代の學生の一番大きい魅力なの
です。

いまいつてきた事は單なる服装
の事にすぎませんが、これを精神
的な方に延びておなじだと思ひ
ます。

學生らしくもなく不潔な趣味
をさす文明人らしく誇つてみたり
學校をサボつてカフェエ通ひやハ
ール通ひを愛身をやつしたりする
事を懶功ぶり、善良な學生達のま
じめさを嘲弄等、本當にいやしわ
べき行爲だと思ひます。

これは關大ひとりではなく、すべ
ての學生を通じての事なんですが
關大は關西の多くの學校の中でも
最もウアラエターに富んだ學校だ
とおもひます。ピンからキリまで
アルプからオメガまであるから
……さうお思ひになりませんか?
いつても「ヨッ」机にかちり
ついて勉強に餘念ない秀才型。

これはまた何の爲に學校へ歸るお
いてゐるのかおききしてみたくな
る、一寸その判断に苦しまねばな
らないやうな常習サボリスト。こ
んな人達はきまつて明るいうちは
常任の鼻である湯水の鴨茶店など
にねばつて晝間の長きを嘆じ、夕
方になるとまるで生きかへつた魚
のやうにネオンに輝く集まるやうな
てあひ。

それからその中間に位置するこ
ろで、これは二種にわかれてゐる
らしい。Aはまじめぶり、Bは不
良ぶる連中。見たところまじめら
しくみせかける事に汲々としたが
ら、かげでこそ、やるやうな狡
い人達。又その反對に小心な勉強
家でありながら不良ぶる事を得意
とする人達。

たいていの學校は大體この區別
がはつきりつてゐるらしいんで
すが、關大にはそれが又きれいに
同じくあらざるやうなやうな氣
がします。それだけに關大のもつ
社會性といふものは大きいと思は
れます。

さうして私達關大に關心をもつ
者は皆その人間らしい多彩色を
内容の廣さを愛すべきだと思つて
ゐます。

統一される事、必ずしも事の大
成を意味するものではないと思ひ
ますから……。多彩色な階級がそ
れがその特徴をよき方に生かし
各々異つたよきで競つてゐる事は
好ましい事業ではありますんか。

關大は白い手袋だ、まじどんな
色にも染められてゐない、だから
まだ、どんな色に染める事も出
来る。未完成であるだけに未來が
期待されるのだ……さうして誰
の手にでも適上完成せるものとし
て世にあらはれる日の近い事を信
じます。宣言多謝(三七、三〇)

關西大學教授 中村良之助著

構成地理と國防政策

菊版クローヌ美装二〇四頁
定價二圓三十錢

【最新刊】

待望の名著!!

本書は國防と云ふ立場から地理學を如何に研究したら良
いかを著述したもので、特に經濟地理學研究者の考慮す
べき一國の資源、位置、交通等土地固有の因子、國の人
的要素、國の生産配給の事情等を實例を擧げて如何なる
意味で研究すべきかを明解に説明した。從來の經濟地理
學が單に事情の列記に止まり勝であつたに對し、之を理
論的、綜合的に地理學を國家の學とした處本書の著しい
特色である!!

東京帝國大學 小野清一郎 名譽教授 部長判事 佐藤龍馬 共編
法學博士

特輯六法全書(現行法令)

三六版上半半裝二千百餘頁
定價五圓五十錢

【六法の豪華版】

一冊よく外地法、國際法までも收載し學問的及び實際的
立場より分類され名實共に現行法令條約の一大集成!

六法全書

(參照條文及
事項索引附) 定價一圓九十錢

新編 第三五五五號裝一六〇〇頁

手頃なポケット判で
内容は大辭典を凌駕する
之こそコンサイスの大特色です

★高名愈々高し★ (總半裝裝千餘頁)
(總半裝裝千餘頁)

コンサイス佛和辭典四、二〇
コンサイス獨和辭典三、五〇
訂改コンサイス英和新辭典二、五〇

新コンサイス英和辭典二、五〇

！スイサンコは書辭

内容見本 振替大阪八一三〇〇番
申越次第 呈

三省堂大阪支店

大阪市西區阿波座下通



掌篇小説

推移

棚谷讓

民子の表情から深刻な感情を受取る、須賀は自己の病性に...

民子は泥舟の方へ歩き始めたが、彼はその言葉も耳に入らない...

彼は民子の性根と、女性の一人居の生活のつらさやかな情緒の溢...

「田舎に見切りをつけて都へ飛び出して来た君が、國が...

「風呂敷をひっくりかへしても風呂敷である。常盤をひっくりか...

「傳統の重荷」

豊岡佐一郎

正宗白鳥氏の「雜語叢書」を讀んでみると、氏の注意をひいた...

事實が最も明白である。三百年傳統のわが「歌舞伎」の根柢はおそらく我國特有の現象...

時的情勢によつてその傳統の力が非常に弱められてきたからだと云へるのだ。即ちその傳統の當時...

「實録主義」が觀望される時代になつたのである。そして第一の反對者はすでに充分その目的を達...

國家を上げての繁榮は、物産の増加に依りて成る。國産品の増加は、國産品の増加に依りて成る。

春夜詩

春愁や口紅のガゼやわらかき春の夜の薄荷酒しみしその袂...

文藝カルテ

「行動主義」「長篇小説」「新浪漫派」「劇文學」「ヒュームニズム」...

トピック

ルーゼルト大統領をして米國の國寶と尊ばした「密藏の聖女」...

爲替管理強化と金現送

教授 森川太郎

(一) 昭和六年の秋、英國の金本位停止を契機として銀行、爲替業者等の間に起つた所謂ドル買對しの金の現送を断行して敢然とドルを賣向ひ、ドル買思惑破滅の聖戦に起つたのは、當時の蔵相故井上準之助氏であつた。結城現蔵相は日銀に在つて井上氏の下に修練を積み、云はゞ井上氏の遺徳を繼いだ人である。そして當時のドル買の大手筋は三井銀行であり、其三井銀行の頭取が現日銀總裁の池田成彬氏であつた事も人の知る通りである。爾來七年、井上氏は既に亡く、其遺徳を繼いだ結城氏が當時の井上氏的好敵手池田氏と手を携へて今や我々非常時金融の掌理に當つてゐる。昨日の敵は今日の友と云ふか、人事勿忙、願れば又一抹の懸念なしとしない。

ドル買事件の成敗得失は、しかし今問はずとするところではない。唯此事件の終末が同年末に於ける金輸出再禁止となつて、我々爲替政策の上に一轉期を劃したことを記すれば足る。即ち圓の金平價保守政策は撤棄せられて、圓爲替は低落のまゝに放任せられ、七年秋には對米二〇ドル維持さへも危ぶまれたのである。一方同年六月には資本の内外移動を取締る目的を以て、資本逃避防止法が制定せられたが、超えて八年五月には爲替取引の取締を一層厳にする爲めに、これに代へて爲替管理法の實施を見るに至つた。而して同法に依る爲替の管理が、昨年十二月及び本年一月の再度に亘つて強化せられたことに依り、吾々は又一の問題に當面せしめられたのである。

從來資本逃避防止法及び爲替管理法の運用は、我々資本の海外逃避並びに貿易上の必要に基かざる爲替取引の取締り、其眼目としたるものである。即ち爲替管理法は第一條に「政府ハ命令ヲ定ムル所ニ依リ左ニ掲グル取引又ハ行爲ヲ禁止スルハ制限スルヲ得」となり、十項目に亘つて管理の及ぶ得る範圍を極めて廣く定め、其實際の運用に於ては、前の資本逃避防止法に於て同法的に行ひ得られたる資本逃避、爲替投機の拔道を嚴重に懲らだに過ぎない。云はゞ此意味に於ける爲替管理を一層水漏れなく(Water-tight)にしたに止まる。

然るに去る一月八日公布せられた大蔵省令第一號に依つては、輸入貨物代金決済の爲めの爲替取引及び信用状取得も、原則として政府の許可を要する事となり、管理の手は遂に貿易上の必要に出づる爲替取引にまで及ぶこととなつた。代金の決済なくして輸入を行ふことは不可能であるから、斯かる爲替管理の強化は、云はゞ爲替を通じての輸入許可制に外ならない。既に大蔵省は商工省との協議に依つて、本年度に輸入を許可すべき諸商品の別を決定したと傳へられる。

云ふまでもなく政府の此措置は近時に於ける我々貿易の悪化、特に輸入の旺盛——政府はこれを悪感人と云ふ——に基くものである。貿易の悪化は、正金銀行の外貨資金の手持たる今日、必然圓爲替の下落を惹起せしむるに止まらず、これを防止する最も手近の手段は即ち輸入の抑制に見出されるのである。

故にこの爲替管理法は輸入許可制の序幕たる點に、其意義を求め得べく、而して其輸入の許可が一般的輸入抑制と共に、國防資財——例へば鐵、石油等——の優先的輸入の線に沿つて、行はれるであらうことも略想像せられ得る。従つてそれが我々國民生活及び輸出

貿易の上に及ぼす反作用は、決して買ふべきものと考へられないが、國防資財を第一義とする我國の現状よりしては、それは凡そ止むを得ざる手段と見られねばならぬであらう。

(三) 結城蔵相の爲替政策には更に金の現送がある。即ち、政府は三月初旬日銀保有の金塊時價約五千萬圓を、政府の勸定に於て現送するに決し、第一回分として一千八百萬圓を三月九日に、第二回分として一千六百萬圓を同十五日に、既に米國に向つて現送した。引續き第三回分を現送する豫定であると共に、今後必要に應じ、各年の産金高の範圍に於て現送を許さない方針であると云ふ。近年我國の産金は年額一億數千萬圓(時價に計算して)に上つてゐるから現政府の方針に従ふ限り、年々それと匹敵する額の金現送が可能となるわけである。

金の現送は云ふまでもなく我々貿易の維持に役立つ。人も知る如く我々政府は過去數年來、對米一志二片に釘付けの爲替政策をとつてゐるが、上記に依つても知らるゝ如く國際收支の悪化に依つて、近時市中相場は真正金價値を下廻る状態に在る。爲替下落時に輸出促進に作用し、現に昭和七年以來の我々輸出の伸張は大部分爲替下落の恩恵に基くものであるけれども既に各國の爲替相場が略相對的安定の域に達せる今日に於て、圓爲替の新たな下落は回復途上にある國際通商關係を再び不安に陥れ延いて我國の對外信用を傷ける虞れがある。又國內的には赤字公債が引續き巨額に發行せられる現状に於て、圓價の下落は我々通貨に對する不安を醸成し、所謂慢性インフレーションの契機となるやも測り難い。従つて我が國の爲替現送に依つても

圓爲替の維持に努めんとする理由がある。日銀の金準備は少なからぬが如くであるけれども、現在平價(即ち一五圓として)約五億五千萬圓の金準備は、時價に再評價すれば十四、五億に達する。兌換準備としては一〇〇%に近く、従つて新産金の現送は、必ずしも通貨の基礎を危くするものではないであらう。外國新聞の論調に徴すれば、金現送に依つて我國の對外信用は幾分改善せられたと云ふ心得る。

(四) しかし問題は今後在る。輸入許可制を意味する爲替管理の強化と金現送とに依つて、我國の爲替相場は將來も能く現在の水準に維持せられ得るであらうか。これに對する豫測は何よりも先づ、今後に於ける我國國際收支の見通し如何に依つてかゝる。昭和十年度の輸入額は四百萬圓に對して昨十一年度の輸入額は一億三千萬圓を算した。輸出の増勢が鈍ると同時に輸入の増加傾向が著しくなりつゝあるのが、昨年以來の我々貿易の現勢である。今年輸入に對し許可制に依る政府の抑制が加はるとして國際收支の増勢が如何なるか。ロンドン・エコノミストは現政府の言明が空文に終るであらうと諷刺してゐるが蓋し其諷刺が當らなかつたならば幸ひである(二、四、九)

現代學生を評して實利的傾向、享樂的傾向、思想上に於ける無主義なり、と世間では嘲るが、唯、興味的に學生を揶揄するものが多い。又國內的には赤字公債が引續き巨額に發行せられる現状に於て、圓價の下落は我々通貨に對する不安を醸成し、所謂慢性インフレーションの契機となるやも測り難い。従つて我が國の爲替現送に依つても

べしと諷刺する向きもある。しかし貿易の輸入超過は、貿易外收支に於ける受取超過に依つて、相當の程度まで補はれる可能性が千圓圓の金準備は、時價に再評價すれば十四、五億に達する。兌換準備としては一〇〇%に近く、従つて新産金の現送は、必ずしも通貨の基礎を危くするものではないであらう。外國新聞の論調に徴すれば、金現送に依つて我國の對外信用は幾分改善せられたと云ふ心得る。

んとするために、保守主義者であり、動もすれば獨善主義者でもあり、その老年が既に得てゐる占有權を離かすものは何時の世に於ても、新來者であり革新者であるところの青年である。従つて彼等老年は絶えず青年を監視し、折ある毎に彼等の社會的地位を利用して或は觀念的に、或は強制的に青年を抑壓しておかねばならない。社會情勢が不安になればなる程、彼等が強硬な態度を増して來るもののためである。斯くして遂に、現今の如く青年を手足も出さぬ「社會の下獄」に監禁してしまつた。のみならず、窮境に追ひ込み「やらせ」を強行してゐる青年らしき「と」を強行してゐる。青年の解放を「檻から籠獄を出す」ことと考へてゐる老年にとつては、現状から學生を教育することとは及びもつかないものである(一)。老年と青年とは宿命的に對立し、悪く行けば兩者の間に何時も争が生ずるが如きものがある。

斯く考へれば、老年に對し依る信心を持つことは如何に愚しいことであるかを知り得るであらう。然るに現代學生の大勢は老年の意のままに「馴らされた獸」になりつゝあるが、もともと「猛獸」であるからには如何に馴れて來たものと云へども、「檻」から出しておかれるものではない。

斯くの如き立場にある現代學生は、生かんとすれば、身を以てその「檻」を破り、自ら己を教育しなればならぬ。そのために學生に與へられた武器は勉學と團結力である。

ともかく「被壓迫群の解放は社會的正義の要求するところ」であり、「抑壓された社會集團は恰度そのことのために自分の社會的地位に目撃されて來ると、必ずこの抑壓的機構の批判者、反壓者となつて革新勢力の貯水池を形造る」やうになるものである。彼の被壓迫群である労働者或は婦人達の立場に、現代學生をなぞらへることが出来ないであらうか。

學生を教育せんとする「現代打撃」が、學生自ら積極的に手を下さない限り、成就されようもないことは前述の如くである。そこで必然的に「學生の自覺」が要求され、それには先づ「學生の自覺」が理解されなければならない。學生が「勉強し、人物を練る者」に違ひないが、しかし之に「學生は青年である」と云ふことを特に附言したい。分り切つた言葉であるに、拘らず「學生は青年である」と強調したいのは何故であらうか。學生は青年であるが故に純眞性(一)と云ふ特徴を有つ。此の純眞性があつて始めて學問をなし、人物を練ることが出来る、また反對に學問し人物を練ることに依つて純眞性を培ふことも出来る。そして「人生に於て最も尊い生活は純眞に生きることであり」。それ故に佐々木博士は「學生生活の眞の意義は將來の就職を爲す爲と云ふ(二)勿論就職も重だが」等々(三)の如き生活をもつと云ふことに存しなければならぬ」と云つておられる。

此の學生生活を於て養つた「純眞」から革新の要求が起り、革新の要求から進歩が生れる。而して革新の精神によつてのみ社會は進歩するのである。従つて、何時の世に於ても、純眞であり未來性ある青年が革新の勢力を有ち、社會文化の推進力となつてゐる。之は何より歴史的事實が立證してゐる。誰か「青年に呼びかけること」の出来るものは時代を指導することとが出来る。「青年を理解せよ、然らば時代を理解したのである」。「青年を抑壓せよ、然らば現代を抑壓したのである」と云つたのは此のあたりを指してゐるのである。こゝに於て、學生の環境が純眞な生活を可能ならしめるに充分であるか否かは、見逃し得ぬ重大な條件となつて來る。現下の社會情勢が勉學に必要な純眞性を弱かし

不適當であることは論を俟たないが、少くとも學問そのものが適切に環境——物的乃至人的設備を含む——であれば、學生が純眞な生活を営むに於て困難ではない。それ故、眞に勉學したいと思ふ學生が適切な學問を要求することは必然である。

かくの如く「學生の自覺」が環境(一)に到達するのは火を見れば、學生社會の文化が暗くも時代の潮流に押し流され、閉塞への過程を進むことは必定である。

四、一〇

學生新聞の使命

宇治原勇造

新聞の領域は絶えず廣げられて行く、それは周知的な備蓄を知らず、生命果なき商品である。昨夜の新聞古くもは無く無数の記者は迅速に正確に世界のニュースを更に集める爲の追求に忙し、遂にこれに従つてゐる。現代新聞の社會は、その考慮を今日なる命題の下に行ふ、それは明日は今日に起りつゝあるニュースであり明日は考へ得られるものであるから、昨夜は過ぎ去つたものであり、今日に於ける事實に對する背景としての意義は無いものである。

だから私は新聞は常に公衆をリードする一つのタクトであると言へると信する。

植民時代の新聞は一つの修長な手段であつたその頃は個性の時代で故に表現された編輯者の意見が新聞の主要なる特色であつた。だから新聞紙面の材料は事件發生後數週間或は何ヶ月後でさへも歓迎されたものである、勿論印刷作業も同様に最近の基礎から言へば鈍いものであつた。

然し一八四〇年にモリス氏の電信發明とホイー氏に依る輪轉印刷機の完成とは一躍現代のニュース蒐集機構を組立てし、つた、その結果は僅か一月に一回か二ヶ月に一回しか發行しない學生新聞にまで關して編輯者を働まして居る。即ち今日なる命題の下にその材料を考慮しなければならぬのに一月も二月も前の新聞大會の記録を今又三流三流で封切られて居る映畫に對して批判のメスをなす事は出来ないであらう。

然らば學生新聞は何を掲載せんとするか。編輯者はこの當々たる矛盾に對して如何なる具體策を練見するか。これは重大な問題である。

編輯者はこの點に對して「言論機關」の四字を借用して學藝に思想に知識に廣大文化の階級を先導するものとして更に踏み加へて、則ち進まずと同時にあくまで今日の命題の下に明日を論求して學藝當局と學生、學生と卒業生、學生の父兄、將來が大學に來るべき人々及び一般社會との關係を來す事を必然の使命と信じてゐる。

來る五月中旬頃、時局問題討論會を開催すべく、目下討論中であるが、一般學生の參加希望者は討論題目の希望を附し、部長室申出られたし。

五月五日

學生新聞部

告

告

告

融通のきかない検事

今井盛五

「八百吉」の若主人勝さんは、Kに笑ひながら、

「今に貴方が検事さんになつたらさぞ融通のきかない検事さんになる事ではうなあ」

と、こんな事を云つた。

何故かと云ふと、つまり性格による云ふのである。

性格と云へば、Kの性格は勿論勝さんに云はれる様にキチンとはして居る。

「そうかと云つて、それはそれで融通のきかないと云ふのは一寸融通のきかないと思ふが、」

とKは腹の中で考へて居た。

「法律家になるにはやうばりきちんとした人間でなければ、あきまへんなあ。そうなければ又、法律などやれるものではないと云ふと、勝さんは腹をうらめた。

「それでせうかね。私など自分で法律に最不適な人間だと思つて居るんですけど、そんなに適して居ますか」

と、今度はKが微笑を含みながら勝さんの顔をうらめた。

「え、え、最にも最にも。貴方みたいな方が法律家に向かないなんて云つたら外に誰がなるもんですか」

と、勝さんの力んで云ひ返すのでKは考へなほして見た。

「融通のきかない検事」にはなれそふもなれないと思つた。むしろ「融通のきかない検事」になつて困るのかも知れないと感嘆するのだつた。之は検事になつた時の話である。検事になれるか、なれないか判りもしない今、こんな心配はさらさら不必要である、然しながら「融通のきかない検事」と云ふ問題は面白い。然して、一つまかり問題をもちたらず問題であらう。

考へて見れば、法律家が文學や藝術、音楽を解して居るとは云へない。そうした方面は解さないのが法律家である、云ふならば、Kはいさぎよく法律を止めるであらう。

だが、それはなるまい。美濃部達吉博士も大衆文學の愛好者だ。そうした人々を見ながら、わざと「僕は文學にかぶれて」とルーズに見せかける連中がある。全くなげかし話と云はねばならない。

凡てがキチンと整つて居ても何の藝術愛好の關心も差別があらう。それは各個人の性格による事である。

Kは殊更に文學を愛して居た。Kは文學と云ふものを、世の一般的な連中とは違つた意味に於てそれだけ崇高なもの考へて居た。文學的情緒と云ふもの、Kはだから人一倍抱いて居た。然し彼はそうした反面、平常は實に冷静であつた。希い感じを彼の周囲の人々に與へる事は常に怖れながらも、どうする事も出来なかつた。つまり性格によるからであつた。

考へて見れば、法律家が文學や藝術、音楽を解して居るとは云へない。そうした方面は解さないのが法律家である、云ふならば、Kはいさぎよく法律を止めるであらう。

だが、それはなるまい。美濃部達吉博士も大衆文學の愛好者だ。そうした人々を見ながら、わざと「僕は文學にかぶれて」とルーズに見せかける連中がある。全くなげかし話と云はねばならない。

凡てがキチンと整つて居ても何の藝術愛好の關心も差別があらう。それは各個人の性格による事である。

Kは殊更に文學を愛して居た。Kは文學と云ふものを、世の一般的な連中とは違つた意味に於てそれだけ崇高なもの考へて居た。文學的情緒と云ふもの、Kはだから人一倍抱いて居た。然し彼はそうした反面、平常は實に冷静であつた。希い感じを彼の周囲の人々に與へる事は常に怖れながらも、どうする事も出来なかつた。つまり性格によるからであつた。

櫻の園

矢野齋士

此の間大阪へ新築地が来て、チエーホフの「櫻の園」を上演した。周知の如く新築地は日本に進歩的な新劇を樹立しようとして、過去幾年來奮闘して来た劇團である。劇團と、思想的激進、中退と我が國の左翼文化運動の敗北後退と共にこの劇團にも倦倦たる運命が起り今も消えて無くなるかと思はれた。さうした風の中で、新築地は孤島を守つて奮闘し續けて来た劇團である。「櫻の園」は小山内薫の昔から新劇の十八番で當時に於て學生やインテリゲンチヤや労働者の進歩的な分子の大きな

同じ様に開放開放に伴つて地主階級が没落し、此れに代つてブルジョア階級の興衰を畫いた作品である。一體過去の社會史は何れの國に於ても又何れの時代に於ても勢力を擧げざる者と擯取せられる者との階級闘争の歴史である。階級闘争は敢て露西亞に限られて居ないが然し露西亞の如く其の過程を鮮明に露出してゐるものはいくつに於けるスラブ族は平和に順ひてゐたがノルマン人の來露に依り奴隸生活の一步に入り、ロマノフ朝によつて現出した偉大な農民階級は、更に十九世紀後半より澎湃たる資本主義の波濤に襲はれて人民の苦痛は絶頂に達した

一體此の戯曲が甘美な抒情詩的な雰囲気にはなれてゐるが、一幕二幕は我々の感情を震盪してテグハグな感じを與へた。第三幕は此の戯曲のヤマでチエーホフもこの劇に導く爲に、しかも「わしは祖父や親父が奴隷奉公をして、露所へさへも入れて貰へなかつた領地を買つたのです。...新しい地主様を御通りだ。榮耀、やれ！」と言ふセリフをローマンに言はしめなが爲に書いたのではないかと想像して見た。

如何なる程度も如何なる規則も、終に其れを永久不變たらしめるものはない。階級と擯取に苦しむ人間階級を受けなかつた奴隷も、百

集募稿原

餘りに貧困せる關大文化の現状を慮る時、吾人うたゝ寂寥の感に堪えず、こゝに於て敢然立つを餘儀なくされた我が新聞部は、遠き夢とは云へ、關大文化建設を目標に、文化的雰囲気をも醸成すべく、「文化章」並に「學藝章」なるものを制定し、左記に依り眞摯なる學生諸君の「論文」「創作」を募集す。

併せて、我が微意を諒せられ、絶大なる御支持御後援あらんことを切望する次第である。

チエーホフはじび行くものを直観して此の歴史の一回轉を畫き出したのである。

此の劇で最も好ましい人物は、永田増のやつたローマンである。如何にも生活力の旺盛な方に對する。而して今日此の時勢の中にも斯くの如き劇を演ずる力は衰へて存在するのである。

生れたが赤手空拳、遂に今日の財を築き上げたローマンの役が女地主ネーラスカヤ夫人「巴里の歌謡生活に身も心も凝ら果てて閉居する」の不生産的な役柄に對象して好意が持たれた。

大島組曲

佐澤比呂志

火の島を捲る島を去り難し
産土の島娘に春の潮渡し
豊饒の山の噴煙に散る椿
椿散り地なき朝の濱に來つ
御神火に夜の軸光をつらわたり

は哀しいことである。空想の出来ないことであり藝術を失つてしまふことになつてしまふから。

人間になることが一つの藝術である。人間とソブリスも言つてゐることを忘れてはならない。

- 一、論文 (範囲限定せず)
 - 一、創作 (共に四百字詰用紙十二枚)
 - 一、送先 (大阪北區東野田一ノ四四 角戸方 森宗 信一宛)
 - 一、締切 毎月十日
 - 一、審査員 交渉中
 - 一、表彰方法 (新聞發刊毎に優等作品、秀作、秀作)
 - 一、文化章 (二年を通じ最優秀作品)
- 文化章 秀作(品)

甲文堂 大阪市東淀川區長柄橋中道二ノ十
振替 大阪六二五〇番
電話 堀川一三四九番
菊判製 定價二圓五〇錢
三七九頁 送料二二錢

英國社會經濟史 (封建社會)
本書は英國の封建社會を全體として考察し、莊園が存する社會の構造的關係を描き出さんとしたもので、經濟に關心を有する人々の一讀すべき好著たり。

プリント 専門店 關西堂
大阪 市東淀川區長柄中道二ノ十二 (關西大學正門前)
電話 堀川二一七七番

演劇書一班
岸田國士著「現代演劇論」彼が過去十年間研究した「なぜ日本の新劇は健康に育たなかつたか」「如何にすれば日本に新しい演劇が生れるか」と云ふ問題を扱ひ、最近彼によつてなされた演劇アカデミーの提唱が此の書の結論。新編劇教育部署演劇論(唯物論全集)、飯塚友一郎著「演劇研究の方法」「新劇と舊劇」、伊原青々著「團圓以後」、小宮豊隆著「演劇論叢書」。その他雜誌では「アトロ」「劇と評論」等

紹介
豊岡佐一郎(傳統の重荷)
本學講師、古き新劇開拓者で、現在、大阪唯一の演劇一大阪協同劇團の首魁。氏の演出になる同劇團の公演には「ニゴール・プルーイ」「ゴッリキヤ」「天祐九」「ハイエルマンズ作」「女中あい史」「阿木密助作」「櫻町(九龍堂製作)」「羅針盤のなげ船・都賀(仲澤清太郎作)」「良夫の貞操(吉屋信子作)」がある。尚劇曲「P.C」を主宰しておられる。

宴會は 新築劇茶の雁風園で
御催しが、近代的
大阪新築町三三三番
電話 五三二六番

今年のは新製は
洋服デパートから
心齋橋 洋服デパート



特別 朝らかな 一階で... 喫茶・洋菓子 和やかに 二階で... 御食事と集會 天六丸 越 電話北五三四二番